

日本語・日本語教育研究講座

日本語教育学－発音－

シラバス

授業科目	日本語教育学－発音－（日本語教育研究センター オープン科目）
期間	2006年10月5日～2007年1月25日（半期科目）
時間	木曜日2限 10:40-12:10
場所	西早稲田キャンパス 14号館 510号室（共同利用研究室5）
担当教員	日本語教育研究科 教授 戸田貴子
メールアドレス	toda@waseda.jp
ホームページ	http://www.f.waseda.jp/toda/

授業内容

外国人の日本語を聞いてみると必ず気づくのが、日本人とは異なる発音の特徴です。日本人が英語を学習するときに「l」と「r」の区別が難しいように、外国人が日本語を学習するときにも、母語の影響が発音に現れます。

この講座では、日本語学習者の発音を実際に聞き、母語の影響について論じるとともに、日頃あまり意識せずに話している日本語の音声特徴を客観的に捉え、聞き手に気持ちを伝えることのできる発音について考えていきます。この講座の目標は次のとおりです。

- 1) 日本語の音声特徴について理解を深め、自ら発音を意識して話せるようになる。
- 2) 日本語と外国語の音声特徴の違いを知り、外国人日本語学習者の発音の特徴を理解する。
- 3) 外国人日本語学習者に対する発音指導ができるようになる。

評価

レポート	50%
課題	30%
授業参加	20%

テキスト

戸田貴子 (2004) 『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』 スリーエーネットワーク

オフィスアワー

木曜日 12:00-1:00。 toda@waseda.jp に連絡の上、事前予約をすること。質問・相談も上記メールアドレスにどうぞ。

課題提出

レポートは1月25日までに提出すること。

出席・その他

出席は60%以上必要とする。病欠、休学などによる受講取消も上のメールアドレスに連絡すること。

授業予定

	日時	講義内容	キーワード
1	10月5日	オリエンテーション 第1課 日本語の音、アンケート	五十音、外来語音、外来語の表記、VT法、連濁
2	10月12日	「自然な発音で話す」とは-1-	(教室変更→22号館202号室)
3	10月19日	「自然な発音で話す」とは-2-	(教室変更→22号館202号室)
4	10月26日	第2課 日本語のリズム 第3課 俳句・川柳	リズム、拍、音節、特殊拍(長音、促音、撥音)
5	11月2日	休講(体育祭)	
6	11月9日	第4課 話しことばの発音	縮約形、無声化、促音化、撥音化、融合
7	11月16日	第5課 名詞のアクセント	アクセント核、アクセント型、複合語のアクセント、高低アクセントと強弱アクセント
8	11月23日	休講(勤労感謝の日)	
9	11月30日	第6課 形容詞のアクセント	アクセント核、アクセント型、い形容詞の活用とアクセント、名詞修飾句のアクセント
10	12月7日	第7課 動詞のアクセント	アクセント核、アクセント型、動詞の活用とアクセント、複合動詞のアクセント
11	12月14日	第8課 オノマトペ	音象徴、清音・濁音、オノマトペのアクセント
12	12月21日	第9課 イントネーション	話者の気持ちとイントネーション、文末イントネーション、終助詞のイントネーション
13	1月11日	第10課 心に残る自己紹介	への字型イントネーション、ポーズの位置と長さ
14	1月18日	第11課 気持ちを伝える話し方	文構造とポーズの関係、フォーカス、強調、いいよどみ
15	1月25日	母語別発音レッスン	韓国語・中国語・英語母語話者のための発音指導

* 授業予定はあくまで便宜的なものであり、進度に合わせて変更の可能性もある。

参考文献

- 鹿島央（2002）『日本語教育をめざす人のための基礎から学ぶ音声学』スリーエーネットワーク
- 窪菌晴夫監修、田中真一・窪菌晴夫著（1999）『日本語の発音教室』理論と練習、くろしお出版
- クロード・ロベルジュ、木村匡康編著（1990）『日本語の発音指導 VT法の理論と実際』凡人社
- 国際交流基金日本語国際センター編（1992）『教師用日本語教育ハンドブック⑥ 発音』凡人社
- 杉藤美代子（1999）『日本語音声の研究7 教育への提言』和泉書店
- 戸田貴子（2004）『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』スリーエーネットワーク
- 文化庁編（1982）『日本語教育指導参考書Ⅰ 音声と音声教育』大蔵省印刷局